

事業所 自己評価表

公表：令和2年3月14日

社会福祉法人 向桜会
第3乙訓ひまわり園
放課後等デイサービス ま〜る

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指定基準24.7mを超え活動室は52.57mあります。敷地内にはグラウンドもありのびのびと活動が出来ます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を満たしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			条例に適合しています。日々の支援をしていく中で気付いた点などは改善するようにしています。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に月1回ミーティングを行う中で、目標に掲げている事項を振り返り、課題整理を行い実践に向けて取り組んでいます。
	5 保護者寄向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート以外にも送迎時や家庭訪問時に伺った要望については検討し業務改善に繋げています。送迎時などの緊急連絡手段として送迎用の電話番号をお伝えしています。
業務改善	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	自己点検を実施していますが、第三者による外部評価は法人内でほぼ毎年受けています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の年数、経験に応じて、研修の機会を設けています。今年度は新人職員に放課後等デイサービス関係職員やベアレンソントレーニング、京都府西部自立支援協議会の児童部会研修に参加させ、支援の幅を広げるように心懸けています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学時や体験利用時などで観察や保護者からヒアリングで情報の分析を行っています。利用契約時に保護者からのニーズ把握に努めています。児童とも一緒に過ごし支援計画書を作成しています。また学校関係者、相談支援員等とも情報共有も積極的に行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		○	標準化されたアセスメントツールの使用を検討しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日朝のミーティングで職員の意見も参考にし活動や取り組みをプログラムしています。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないように職員から過ごしの提案をしたり児童と相談して活動を作っています。今年度は教材を取り入れ、学習面にも取り組みを行ってききました。他にもボールダリダリや感覚統合機器や自然環境も活用しながら多様な過ごしをしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		○	現在の設定が十分とは言えないが長期休暇や季節に応じた企画を考え取り組んでいます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童一人ひとりに合わせて個別・集団での活動、療育を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い予定や取り組み内容や担当など確認しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		○	必ずではないがその日の気になる行動などについては職員間で共有したり翌日の朝のミーティングで報告しています。
	17 日々の支援に關して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後個別に記録を作成し職員間で情報を共有しています。他の職員にも場面の状況確認など分かりやすいように検証を行い改善に向けて情報共有を行っています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月1回のミーティング時に支援計画の振り返りを行い、支援の再確認と必要場合は支援の見直しなどを行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			活動を通して自然と触れ合うこと敗北を乗り越えて地域の方との交流をおこなっています。活動時に話をし決めていく。また、チャレンジする取り組みなど活動に取り入れています。他にも個別に必要な取り組みもしています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や管理者が出席しています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			支援学校とは年間計画や行事などの確認は行っているが他の学校については送迎時に先生と児童の情報を確認、共有しています。送迎についてはご家族からの情報に応じて臨機応変に対応しています。